

## 平成28年度第3回幕別町次世代育成支援対策地域協議会会議録

- 1 日時  
平成29年2月21日（火）19：00～20：10
- 2 場所  
幕別町役場 2階2-A・B会議室
- 3 出席した委員  
11人：浦上委員（代理廣岡）、片岡委員（代理支倉）、小山委員、齊藤委員、  
下川委員、杉山委員、嶽山委員、千葉委員、西川委員、堀委員、矢野委員
- 4 欠席した委員  
4人：式見委員、荒木委員、伊藤委員、大坂委員
- 5 事務局  
9人：境谷住民福祉部長、杉崎こども課長、金田一保健福祉課長、菅原保育係長、  
児玉こども支援係長、浜頭福祉係長、佐々木主査、長田主査、森主任
- 6 説明員  
2人：合田保険課長、伊丹健康推進係長
- 7 配布資料  
資料1：幕別町子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）評価シ  
ート  
資料2：忠類へき地保育所（忠類子育て支援センターを含む）の直営化について  
資料3：利用者支援事業（母子保健型）について  
資料4：事業所内保育所の設置認可申請について
- 8 内容  
(1) 開会 千葉会長挨拶。  
(2) 議事  
○ 進行：千葉会長  
① 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況及び評価について  
子ども・子育て支援事業計画の進捗状況・評価の取りまとめ結果について、  
事務局（児玉係長）から説明。  
【資料】  
○資料1 幕別町子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）評  
価シート  
【質疑・意見】  
委 員：27番の子ども会の取組みの活用事業について、子ども会で行ってい  
る行事の内容はどのようなものがあるのか。また、どのくらいの参  
加があるのか。  
事務局：各子ども会に案内をし、夏休みにネイパル足寄で宿泊事業を行って  
いる。参加人数については、教育委員会に確認をし、回答したい。  
委 員：45番の子どもの権利の普及・啓発について、小中学生用に作成した  
パンフレットはどのように活用されているのか。  
事務局：すべての学校に確認をしたわけではないが、道徳の授業で活用し  
ている学校がある。  
委 員：学校に活用方法やこのように利用してほしい等伝えてはどうか。  
事務局：校長会でパンフレットについて説明をし、その際、授業で使って  
ほしい旨伝えている。  
委 員：学校だけではなく、家庭でも活用してもらい、これが家族の会話

のひとつになるとよいと感じる。

委員：64番の特別支援教育支援員について、現在幕別町では支援員の研修にたくさん出させていただいたり、様々な場面で支援員をたくさん出していただいている、支援員としてとても感謝している。担当の連携が子どもへの支援に繋がるため、このような状況を是非継続してほしい。

事務局：今年度からこども支援部会というものを発足しており、この部会はそういった担当の連携の場にもなってほしいと思っている。

② 忠類へき地保育所及び忠類子育て支援センター直営化について

忠類へき地保育所・忠類子育て支援センター直営化の経緯・直営化後の運営概要について事務局（浜頭係長）から説明。

【資料】

○資料2 忠類へき地保育所（忠類子育て支援センターを含む）の直営化について

【質疑・意見】

委員：認可保育所と認可外保育所の違いは。

事務局：国の基準に従うかどうかが違う。認可外とすることで、例えば職員の数や保育料の設定を独自に決めることができたり、給食を給食センターから提供を受けることができるようになる。

委員：直営化のメリットは。

事務局：今まで運営を委託していた忠類保育所運営委員会が法人格を持っていない任意団体であったため、保育士の確保が難しかったり、何かあったときの責任の所在がどこにあるのか、難しい部分があった。また、運営委員会からも直営化してほしいという声があったため、今回直営化をすることとなった。

③ 子育て世代包括支援センター事業について

平成29年4月より開始する上記事業について、説明員（伊丹係長）から説明。

【資料】

○資料3 利用者支援事業（母子保健型）について

【質疑・意見】

委員：妊婦訪問の実績はどの程度か。

事務局：年間出生数が170人程度で、そのうち140～150件は訪問している。訪問ができなかったところは、出産ぎりぎりまで仕事をし、産休に入ったところで切迫早産になり出産、というようなことがあった。都合さえあれば、妊婦訪問を受け入れてくれる家庭がほとんどである。

委員：新事業の産後ケアの内容はどのようなものを予定しているか。

事務局：沐浴や授乳等母としての技術をマスターしないまま出産・退院をした家庭を対象に、助産師が訪問・指導を行う予定である。全ての家庭に訪問するのではなく、事前アセスメントにより必要な家庭を絞った上で実施する予定である。

委員：産後ケアの訪問を行う助産師についてはどうするのか。

事務局：現在、委託できる人を探しているところである。

委員：パパママ教室を夜開催してみてもどうか。

事務局：これまでもそういった要望はあったため、今年度より年4回開催

のうち2回を夜開催とした。夜開催の時には父の参加が増えた。

事務局：子育て世代包括支援センターについては、これまで子ども・子育て支援事業計画に記載がなかったため、今回の会議を持って、子ども・子育て支援事業計画へ掲載することといたします。

④ 事業所内保育所について

社会福祉法人幕別真幸協会より申請のあった、家庭的保育事業等設置認可について、事務局（菅原係長）から説明。

【資料】

○資料4 事業所内保育所の設置認可申請について

【質疑・意見】

委員：今回の申請は、地域枠を確保するための認可申請なのか。それぞれのどのようなメリット・デメリットがあるのか。

事務局：事業所は認可してもらうことで、これまでは事業所内保育所の保育料のみで運営を行っていたものが、国・道・町から費用負担をしてもらえるようになり、安定的保育が行えるようになる。その代わり、預かる予定ではない子どもを預かる責任が発生する。

町は保育所に入れなかった子どもが地域枠で預かってもらえるようになるが、費用負担が発生する。

委員：費用負担は保育所に入っている全ての子どもの分を負担するのか。

事務局：子どもの住民票のある市町村が費用負担を行うこととなる。

(3) その他

○事務局

- ・札内青葉保育所について、前回会議でお諮りした後、議会でも承認を受けた。現在は平成29年4月1日の完全移行に向けて、手続きを進めている。
- ・延長保育について、平成29年度入所予定の保護者にアンケートを行ったところ、多くの利用が見込めない結果となった。そのため、今回は一旦見送りとするが、仕事や天候等でどうしても迎えが18時30分に間に合わない場合、事前に連絡をもらって19時まで対応をする形で来年度は見守ることとした。
- ・次回の会議については未定だが、会長と相談の上決定したい。決まり次第、文書にて案内する。

○千葉会長

大変貴重な意見をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

閉会